

テスト②

ちようさんぼし

意味

故事

得点 / 80
10点 × 8

ちようさんぼし

猿にエサを「朝3つ、夜4つやる」と
言うのと怒ったため、夜3つにやる」と喜
んだ。

くんしはひょうへんす

ちようさんぼし

豹の毛が季節によつて生え替わり斑紋が鮮やかになるように、態度を急に改めた。

しゅつらのほまれ

ちようさんぼし

荀子が青色は「藍」からとると「藍」よりも青くなると言った。

げきりんになれる

ちようさんぼし

竜のあごの下に生えた逆さ鱗に触れると、竜が激怒したという伝説があった。

しゅしゅ

ちようさんぼし

ウサギが切り株にぶつかり死んでしまつた、男はもう一度ウサギを得ようと切り株を見ていたが二度と現れることはなかつた。

がしんしよたん

ちようさんぼし

鐘や鼎のような大きな器は簡単には作れず、年月がかかる。

かなえのけいちょうをとぅ

ちようさんぼし

楚の王が他国の宝である鼎の大小や軽重などを尋ねた。

じょちょう

ちようさんぼし

植えた苗を早く成長させようと引張り、苗を枯らしてしまった。